広報いちのせき I-style ９月号　９頁

参考資料２

水道料金の改定を審議しています

～ 一関市水道事業経営審議会 ～

市では、将来にわたって安定した水道を持続するため、水道料金の改定について、一関市水道事業経営審議会（二階堂満会長、委員 15 人）に諮問し、令和２年 10 月から同審議会において料金水準の見直しを検討してきました。

３月 23 日の第３回審議会において、15％程度の改定が妥当との意見を受け、５月 18 日の第４回審議会において複数の料金案について比較を行いました。

７月 20 日の第５回審議会では、前回までの審議を振り返るとともに、委員から質問のあった市の水道事業の現状や県内他市との経営環境の比較などを通じて、適正な料金水準の在り方について協議した結果、14.9％増の改定案（下記Ｄ案）で検討を進めることとなりました。

10 月に開催予定の第６回審議会では、最終的な答申案について検討する予定となっています。

【給水区域面積と水道管延長】
（平成 30 年度末時点、上下水道部調べ）

No.	事業体	給水区域面積	水道管延長
1	一関市	710 km²	2,127 km
2	岩手中部＊	658 km²	2,827 km
3	奥州市	633 km²	1,872 km
4	八幡平市	205 km²	426 km
5	盛岡市	139 km²	1,585 km
6	遠野市	115 km²	615 km
7	宮古市	112 km²	588 km
8	二戸市	107 km²	247 km
9	久慈市	105 km²	359 km
10	滝沢市	67 km²	384 km
11	陸前高田市	49 km²	334 km
12	大船渡市	32 km²	386 km
13	釜石市	20 km²	300 km
	県内市平均	227 km²	927 km

＊岩手中部：北上市、花巻市、紫波町の２市１町の水道供給を担う岩手中部水道企業団

＜委員から出された主な意見＞

- 給水区域面積の広さや水道管の長さを考えれば、今までの料金水準では事業が維持できなくなる。平均 15％の値上げはやむを得ない。
- 水道は日常生活や経済活動に不可欠で重要な社会基盤なので、必要な財源を確保して、老朽化した施設は適宜更新してほしい。
- コロナ禍で事業縮小や生活費に苦慮している方に配慮し、極力値上げ幅を小さくしてほしい。
- 市の水道事業の実情や経営を取り巻く環境など、審議会に出席していなければ分からないことが多い。もっと市民に向けて事業について理解してもらえるよう情報発信に努めてもらいたい。

【これまでの料金改定案の検討内容】　＊現在の料金から、全口径の基本料金と全水量区分の従量料金を同率で改定

料金改定率 ＊		料金計算時の端数処理		料金総額	改定による増額分
		基本料金	従量料金		
A案	15％増	100円未満を四捨五入	10円未満を四捨五入	27億1,000万円	3億7,000万円（15.8％増）
B案	15％増	1円未満を切り捨て	1円未満を四捨五入	27億200万円	3億5,400万円（15.1％増）
C案	16％増	〃	1円未満を切り捨て	27億2,000万円	3億7,300万円（15.9％増）
D案	14.9％増	〃	〃	26億9,100万円	3億4,300万円（14.6％増）

問上下水道部　☎㉑2111（内線8585）